

法友

かわらばん

No. 4

発行日 2021年12月17日

発行

大阪弁護士会法友倶楽部

幹事長 林 裕之

編集者

法友倶楽部広報委員会

委員長 山田敬子

編集長 原田裕康

印刷 楳耕文社

表紙題字 故 滝井繁男先生

折り返し、本来の私ならではの

令和3年度 法友倶楽部幹事長 林 裕之 (53期)

法友倶楽部の皆様、こんにちは。令和3年度幹事長の林裕之です。コロナ感染者が落ち着きつつあり、本来の私らしさへの期待が高まってきております。



さて、今年度の折り返し地点を過ぎました。就任以来、ビアパーティなどの恒例行事ができていませんが、各委員会の皆様には精力的に活動をしていただいています。企画委員会では、法友倶楽部の求心力を維持すべく様々な検討をしていただき、さらに会費減額なんて大それたことを諮問してしまいました。広報委員会では、「かわらばん」発行に加えて、90周年記念事業実行委員会の記念誌部会と共にホームページ立上げ、記念誌の作成などにご尽力いただいています。研修委員会・法曹交流委員会では、開催していただいた研修企画は大変好評でしたので、今後は兼任委員長によるシナジー効果が期待されます。親睦委員会では、制限された状況下でも2回のHGCを開催していただき、今後も様々な企画を練っていただいています。ジュニア部では、積極的にリアル参加企画を開催いただき、求心力維持への貢献は大変なものです。

希薄化しつつある人間関係にとって法友倶楽部は重要なチャンネルの一つと思っています。今後は、法友倶楽部ならではの、私ならではの生身の交流を深めていきたいと考えていますので、ご指導・ご協力のほど、よろしく申し上げます。

折り返しが過ぎました。

令和3年度 大阪弁護士会副会長 中嶋 勝規 (54期)

法友倶楽部の皆様、リアルでは中々お会いすることがない現状ですが、如何お過ごしでしょうか。

コロナの感染状況も大分落ち着いてきており、徐々に日常が戻ってきているように感じます。令和



3年10月25日からの会運営の在り方については、同日付でメール配信をさせて頂きましたが、法律相談体制は一部見直しを行い、夜間・土日の相談等を開始しています。また、会館利用についてもまん延防止等重点措置解除後の定員としております。一方、委員会の運営については、極力Webのみでの開催をお願いしております。ご不明な点は、私までお問い合わせ頂ければ幸いです。

さて、私の任期も3Qが終わりに近づいてきています。この間、法友倶楽部にも様々な出来事がありましたが、不祥事に対しては、もう少し早く何とかならなかったのかなという思いがあります。中々リアルで接触することが難しい現状ですが、端緒はいろんな所に潜んでいます。最近顔を見なくなったなというのも一つの端緒だと思いますし、連絡がつきにくいというのも端緒です。「誰一人取り残さない」というスローガンを実現するために、まずは法友倶楽部が顔を見える関係を維持していく必要があります。同期、会内委員会、親睦行事等あらゆるチャンネルが十分に開かれているか、この機会に考えてみるべきかもしれません。

法友倶楽部創立90周年記念誌・ アルバムの準備状況

法友倶楽部創立90周年記念事業実行委員会
記念誌・アルバム部会 部会長 小池 康弘 (43期)

2020年11月30日発行の法友かわら版で後岡良知事務局長から90周年記念事業全体の報告がありましたが、その後、2021年5月14日の実行委員会において、記念誌の発行とホームページの制作は予定通りとするが、記念式典、記念公演、記念ゴルフ等の記念行事はすべて中止すると決議されました。



そこで、今回の法友かわら版では、記念誌とホームページについて報告します。

まず、これまでの記念誌では実施された記念事業に関する報告が掲載されていますが、90周年では記念事業がすべて中止となったため、これを掲載することができません。

この点が、従来の記念誌と大きく異なるところです。また、80周年記念誌では記念式典の写真がカラー印刷だったのですが、90周年記念誌ではカラー印刷はなく予定で、少し地味になるかもしれません。

90周年記念誌の目玉企画として、2021年11月2日に「コロナ禍の弁護士」（仮題）というテーマで座談会を開催しました。

この座談会は、完全WEBで17人の会員が参加して、コロナ禍の中でどのような活動をしているのか、そして、弁護士業界は今後どうなっていくのかなどを話し合いましたので、これを記念誌に掲載します。

80周年の時には、会員のアルバムを作成しましたが、90周年ではアルバムの代わりに、法友倶楽部のホームページ内に希望する会員の写真や趣味・経歴等を掲載することにしました。

掲載するか否か、会員だけが閲覧できるとするか誰でも閲覧することのできるかどうか、また、掲載するデータ（写真・趣味・出身校等）もすべて自由としていますが、できるだけ多くの会員に掲載していただきたいと思えます。

記念誌の発行とホームページの制作は年度内を予定していますので、ご期待ください。

ホームページ作成準備中です

広報委員会 中島 裕一 (66期)

現在、広報委員会所属の辻村幸宏会員、山田敬子会員と当職の3名で、担当者として打合せを重ね、法友倶楽部のホームページを作成しています。



今回のホームページは、持続可能性の観点から、ワードプレスというサービスを利用することで、更新の人的負担・費用を比較的抑えながら長期運用することを予定しています。

また、大阪弁護士会のホームページ同様、会員向けの階層を作成し、希望者は市民向けにも自己紹介ページをもつことができると同時に、会員内の交流のための自己紹介ページとすることを可能としています。

現在、鋭意製作中ですが、会員向けページでは、行事のアルバムを掲載したり、行事予定をグーグルカレンダーで確認したり、会誌のバックナンバーを閲覧できるようにして、会員の交流にお役立ていただければと考えております。

なお、ホームページには、会員限定ページに会派が保有している会員名簿をPDFデータで掲載する予定ではございますが、個人の自己紹介のページは、希望があった会員のみ掲載される予定です。

市民向けページに載せるか会員向けページにだけ載せるか、写真を載せるか載せないか、趣味を詳しく書くか、専門分野についてコメントを掲載するか等、非常に高い自由度で選択できます。

個人ページ向けの情報の入力用フォーマットは、これまでも会員メーリングリストにて案内させて頂いておりますが、この法友かわらばん4号の配布のタイミングにあわせて、あらためて会員メーリングリストにて入力用フォーマットのリンクをお送りさせていただきます。ご多忙かと存じますが、せっかくの機会ですので、ぜひ個人ページの掲載にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

井崎康孝会員を次年度大阪弁護士会 副会長候補者に、森直也会員を法友 倶楽部幹事長に推せんしました！

常任幹事 尾島 史賢 (56期)

令和3年9月1日、第2回推せん委員会が開催されましたので、ご報告します。開催に先立ち、井崎康孝会員(54期)より、次年度大阪弁護士会副会長への立候補届が林裕之幹事長に提出されました。



そして同委員会にて、①井崎会員を次年度の大阪弁護士会副会長候補者として推せんすること、②森直也会員を次年度の法友倶楽部幹事長として推せんすることの可否を審議しました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策から大阪弁護士会館におけるリアル会議とZoomを併用し、40名を超える委員が出席しました。副会長候補者の推せんに関しては、小松陽一郎会員、橋田浩会員及び山崎道雄会員による推せんの言葉が述べられました。三会員から、井崎会員の温厚な人柄や的確に業務を処理する能力が紹介されるとともに、井崎会員の元ボスである小松会員による「品質保証」が表明されました。井崎会員からは、①若手・中堅を中心とする会員の会務への参加意識を高め、将来にわたり弁護士自治が堅持されるような基盤を整備する、②執行部・委員会双方の意見を互いに迅速に伝え、十分に議論したうえで、執行部として適切に判断する、③法友倶楽部会員へ、弁護士会または弁護士にとって重要な情報をなるべく簡潔に分かりやすく伝える、④執行部としての経験を、その後の会務に活かす、⑤本業（できれば私生活も）との両立を図るとの抱負が述べられました。ジュニア部代表幹事の門林俊夫会員からは、先に行われたジュニア部の意見を聴く会でも満場一致で井崎会員の推せんが決議された旨が報告されました。そして福原哲晃会員をはじめとする委員の方々から、温かい激励の言葉が寄せられました。

審議の結果、井崎会員を次年度の副会長候補者、森会員を次年度の法友倶楽部幹事長として、それぞれ推せんすることが満場一致で決議されました。冬季の定時総会における審議は、令和3年12月20日に行われます。皆様、奮ってご参加ください。

研修委員会活動報告

研修委員会・

法曹交流委員会委員長 山崎 道雄 (60期)

令和3年8月26日、当倶楽部から井崎康孝先生(54期)を講師としてお招きし、「知的財産法・倒産分野の実務 初級編」というテーマで第1回研修を開催しました。



井崎先生は、小松法律特許事務所です。イン弁を経験されたことがきっかけで、知的財産法及び倒産法分野を中心に業務をなさってきました。

研修は、「初級編」だったものの、基礎知識だけでなく、教科書に記載されないような心構えや経験談まで、ざっくばらんにお話いただきました。特に、倒産分野では「代表者とは蜜月→対立を使い分ける」、「売掛金は早めに訴訟提起してしまう」、「裁判所への報告書は、なるべく簡潔・わかりやすくし、しかし努力した点は伝わるように」といった小松法律特許事務所のノウハウを具体的な事例もまじえてご説明いただきました。

また、知的財産法分野では、日常的にありそうな相談事例を題材に、調査すべき事項からヒヤリハットに至るまで詳細にお話いただきました。

最後には、若手を中心に複数の質問がありましたが、いずれも丁寧にご回答いただきました。井崎先生、本当にありがとうございました。

法友倶楽部の研修は、以上のとおり、「会派ならではの」をコンセプトに、通常の研修では聞けない・でも知りたいことも含めて勉強をします。

会員間の交流の場でもありますので、今後とも奮ってご参加いただきますようお願い致します。

令和3年7月22日、 第1回HGCを開催しました。

親睦委員 塚崎 幸司 (61期)

本年度最初のHGCがABCゴルフ倶楽部で開催されました。同伴競技者の方々に恵まれ、大量ハンデと幸運によって望外の好スコアとなり、優勝することができました。晴天の広々とした緑の中、男子プロトーナメント開催コースの素晴らしいコンディションのなか、気心の知れた法友倶楽部の先生方とリラックスしたゴルフを楽しむことができました。山岡親睦委員長をはじめご準備にご尽力頂いた親睦委員のみなさまに感謝を申し上げます。



平成30年に法友ジュニア部が主催会派としておこなった若手会対抗ゴルフに世話役として参加し、前年に引き続き団体優勝を果たすことができましたが、個人成績が全くふるわず悔しさが残り、それが本格的にゴルフにのめりこむきっかけとなりました。時間の許す限り練習場やコースに足をはこび、YouTubeで地面反力、シャローイング、下回りスイングなどの流行りのキーワードを検索して動画を研究したり、三浦技研のアイアンを求めて姫路市近郊に赴いたり、今どきのゴルファーライフを楽しんでいます。幼い頃から打ち込んだ野球以外にも、このような奥深いスポーツと出会うことができた幸せを感じる日々でもあります。

今回は参加者が少なく少し寂しくもありました。今後も積極的に参加してHGCを盛り上げて楽しいコンペにしたいと思っていますのでよろしく願いいたします。

順位	氏名	IN	OUT	GR	HD	NET
1	塚崎 幸司	42	38	80	22.0	58.0
2	永井誠一郎	50	52	102	36.0	66.0
3	片岸 寿文	41	45	86	15.0	71.0
4	山岡 直人	49	41	90	18.0	72.0
5	金 泰弘	51	46	97	17.0	80.0
6	山田 一仁	53	53	106	25.0	81.0
7	天井 友香	63	55	118	26.0	92.0

令和3年10月24日、 第2回HGCを開催しました。

親睦委員長 山岡 直人 (60期)

令和3年10月24日、東急グランドオークゴルフクラブにて、令和3年度秋季HGCが開催され、親睦委員長を仰せつかっております私が自ら優勝させていただきました（マッチポンプではございません）。



オフィシャルハンデが9月にととう9となり、シングル入りを果たしたところだったのですが、法友創立80周年記念アルバムの「10年後の自分予想」の欄を思い出し、確認すると、「ゴルフのハンデがシングルになってますように（祈）」とあり、まさに10年の時を経て一つの目標を達成できたところでした。

その中で、HGCについてはなぜかハンデ20もいたでいており、ラウンド後半はまさにこのかわらばんへの投稿作業が頭を過ぎり、これではまずいとばかりに、多少手を抜いたきらいがあったことは否めませんが、さすがにNET63となってしまえば否が応でも優勝せざるを得なかった次第であります。

なかなか親睦行事の開催もままならない時勢でしたが、やはり多くの会員の皆様と親睦を図れる機会としてのゴルフは、本当にコミュニケーションツールとしては最高のものがあると思います。

今回のHGCはそれこそシングルハンデとなっているものと思われませんが、そこでは積極的にかわらばん投稿のために優勝したいと思います。

順位	氏名	IN	OUT	GR	HD	NET
1	山岡 直人	38	45	83	20.0	63.0
2	片岸 寿文	41	36	77	13.0	64.0
3	田中 章弘	52	51	103	36.0	67.0
4	西村 嗣人	49	44	93	25.0	68.0
5	天井 友香	46	49	95	27.0	68.0
6	石坂 省吾	55	55	110	36.0	74.0
7	塚崎 幸司	41	41	82	6.0	76.0
8	永井誠一郎	54	47	101	24.0	77.0
9	高見 晋祐	57	56	113	36.0	77.0
10	中嶋 勝規	53	49	102	19.0	83.0
11	山田 一仁	56	57	113	26.0	87.0
12	金 泰弘	52	56	108	19.0	89.0

やっぱりリアル開催の方が楽しい！

ジュニア部代表幹事 門林 俊夫 (65期)

本年度のジュニア部の活動も折り返し地点を通過しました。前半戦はコロナ禍の影響でなかなかリアル開催ができずにいましたが、感染者数の減少に伴い、徐々に通常走行に戻りつつあります。



第4回例会は、毎年恒例の「副会長候補の先生から意見を聞く会」をオンラインとリアルハイブリッドで開催しました。次年度副会長候補の井崎康孝先生をお招きして、先生の経歴や副会長として実現したいこと等をお聞かせいただき、ジュニア部としてもござらんにお話をさせていただきました。例年は例会後に副会長候補の先生にお食事に連れて行ってもらうのですが（こちらがメイン?!）、本年度は残念ながらお預けでした。



第4回 井崎先生と真剣に話を聴くジュニア部会員

第5回例会は、礼法の先生をお招きして、マナー講習をオンラインで行いました。日本古来の作法である礼法を現代にも通用する形で解説いただき、純粋に歴史の勉強としても興味深い講演でした。例会でワンランク上のビジネスパーソンにレベルアップです。

第6回例会は、ボイストレーニングを音楽スタジオで実施しました。まだ緊急事態宣言が解除される前でしたが、ええいままよ！と本年度初のリアル開催です。カラオケに行きたくなること必至の講演でした。講評につき第8回例会でもボイストレーニング（実践

編）を実施し、今度は参加者全員がカラオケ披露でした。アドバイスを受けると歌って上手くなるもんですね。



第6回 ボイトレ講師の話を聞きしめる石坂先生

第7回例会は、体を使ったゲームが楽しめるアミューズメント施設「VSPARK」にプチ遠足でした。目玉はARスポーツ“HADO”（ARゴーグルを装着して、そこから見える仮想空間でエネルギー波をぶつけ合うゲーム）だったのですが、個人的には猛獣と10m競走をするゲームが楽しかったですね。単純なかけっこは童心に帰ります。※添付写真は“HADO”ではありません。ARゴーグルから見える画像でないと、あまりにも地味な絵面なので……



第7回 息ぴったりな福本先生と中島先生

後半戦もまだ始まったばかり。リアル開催をメインに、参加者をもっと増やしたいと考えています。皆勤賞の方も、これまで例会に参加されたことのない方も、次回以降の例会に是非ご参加ください。

女性会員の先生方、ぜひ花の会へ！

花の会世話役アシスタント 谷岡 茉耶 (64期)

コロナ禍ではありますが、花の会はウェブにて開催を続けております。

これまでのウェブ花の会では、新会員専用サイト使用後の雑感、事件記録保管方法、堺支部や神戸地裁付近のランチ情報交換などをして参りました。このようにお役立ち情報を交換できる、というのが花の会の良さの一つであります。また、例年、次年度副会長候補者の先生のお話を聞く会を設けており、今年度も、この号が発刊される頃には井崎康孝先生からの有意義なお話を聞くことが出来ていると思います。

ところで、私の考える花の会の最大の魅力は、期の近い先生方にとどまらず、期が離れた先生方と交流できるという点です。交流を通じて、10年・20年先の成長を想像したり、自分と同じような悩みに共感したり、初心に戻ってフレッシュな気持ちになったりしております。また、先生方が、時には大変な思いをされながらも、明るく颯爽と弁護士業務を乗り切ってこられているのを目の当たりにして、すがすがしい気持ちになることも多いです。このようにして様々な期の女性の先生方からパワーをいただいているような気がいたします。

そんな花の会は、いつも和やかで暖かい雰囲気です。私自身、初めて参加させていただいたとき、少し緊張しましたが、あっという間に馴染ませていただきました。私は、日々楽しいことを見つけて暮らすことをモットーにしておりますが、花の会もその一つです。このように楽しい花の会、是非お一人でも多くの方に参加していただければと思います。

今回は、令和4年2月4日(金)12時～、今のところウェブ開催を予定しておりますが、状況によってはリアル開催も可能かもしれません。

常連の方も、初めての方も、お久しぶりの方も、ぜひご参加ください！



独立しました

あしたの獅子法律事務所

独立しました

中野 博之 (71期)

71期の中野博之と申します。私は、8月31日付でベリーベスト法律事務所を退所し、辻野篤郎弁護士と「あしたの獅子法律事務所」を立ち上げました。事務所名は、未来に向けて前向きに歩もうとしている人を応援したいという思いを込めたもので、①答えのない問題に取り組む、②誰一人取り残さない社会の実現、③働きがいの追求、のビジョンのもとで設立しました。

新事務所に移り3か月弱が経過しましたが、これまで私は個人事件を一切受任していなかったこともあり、来客はお祝いを持ってきていただいた先生方(林先生、北口先生、ありがとうございます！)と友人ばかりで、顧客はゼロという極めて平穏な生活(笑)を送っております(注：当記事の初稿入稿後からグラチェックまでの間、商標無効審判、民事信託、刑事の事件を受任し、少しずつ事件は増えてきております)。

また、ビジョン②の実現のため、私は、これまでしていなかった被疑者国選弁護の活動を始めました。そうすると、最初の事件で準抗告申立てが認められ勾留請求却下・被疑者釈放となり、弁護士選任後2日目に任務終了という幸先の良いスタートとなりました。

このように公益活動は充実しつつありますが、ビジョン①の実現に向けた事件の受任は未だ発展途上です。しかし、小さな事件でも全力で取り組むことを繰り返していけば、必ず道はひらけるものと考えております。

現状では、まだまだ時間的余裕はありますので、みなさま、お気軽に事務所にお立ち寄りください。



事務所玄関にて。右が中野。左が相棒の辻野篤郎弁護士。

独立しました

弁護士法人かなめ

「かなめ」の琴も よろしくお願いします！

琴 太一 (65期)

司法試験受験生だった2010年、SNSの走り「mixi」の受験勉強コミュニティ内で、「ストイック」というハンドルネームの同期と知り合いました。



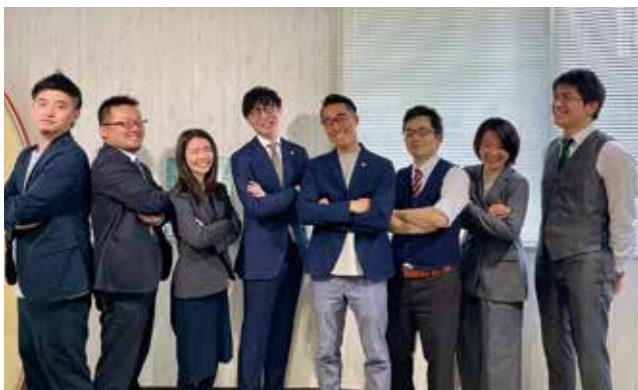
翌年のオフ会で初めてリアルで目にしたその男は、当時から圧倒的な熱量を持った、文字通りストイックな奴でした。

序文が長くなりましたが、登録後8年以上お世話になりました太田・柴田・林法律事務所を退所し、本年4月、ストイックこと畑山浩俊が代表を務める「弁護士法人かなめ」にパートナーとして合流しました。

かなめに来て、何もかもがガラッと変わりました。顧問先と全弁護士がビジネスチャットツールで繋がりと、日々のやり取りは基本全てチャットで行います。メールや電話を使う頻度は本当に減りました。顧客からの連絡には「秒」で対応。常にチームプレーで動いていることもあり、レスポンスはとにかく爆速です。

現在25の都道府県に顧問先があるため、出張も多いです。私もすでに、北海道、秋田、宮城、栃木、千葉、東京、高知、鹿児島、沖縄と、全国を飛び回っています（元々旅が好きなので最高です！）。

業務の内容や働き方が変わっても、ブレずに自分らしさを貫き、なんとか顧客や事務所のメンバーからの信頼を得られているのは、太田忠義先生、林裕之先生の手厚いご指導の賜物だと確信しています。ご恩に報いるべく、今後も全力で走り続ける所存です。



結婚しました！

青木 佑馬 (70期)

無沙汰しております。70期の青木佑馬です。

入会してすぐにももらった「法友」の後半に、同期からインタビューをされて馴れそめを話したり、エピソードを紹介したりの結婚記事を読み、会派の仲の良さを垣間見て、いつか掲載されたいと思っていましたが、晴れて、あこがれだった法友倶楽部の結婚報告記事に掲載することができました。

しかし、コロナ禍が原因なのか、同期からのインタビューは無く、残念ながら自分で執筆する形式になっているようです。

妻とは、コロナ禍にあって、マッチングアプリで知り合い、出会ってから1年もかからずのスピード結婚です。現在は、新居で夫婦仲良く生活できています。

下の写真は、プロポーズをしたときのものです。



恥ずかしがり屋なので、顔を隠すことを条件に写真の掲載の許可を得ました。

コロナ禍でなかなか会派の集まりがなくなりましたが、12月にオークションが実施されるなど、会派のイベントが徐々に行われそうですので、家族も参加できるビアパーティーや親睦委員会のイベントに妻を連れて参加したいと思います！

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

法友グルメ手帖 番外編

原田 裕康 (59期)

大先輩の先生方に行きつけのお店をご紹介いただいて、若手弁護士をお連れいただく「法友グルメ手帖」のコーナーですが、複数名での会食ができない時期が続きましたので、今回はお休みです。会派活動の多くの場面で、飲食等をご一緒することで先生同士のご縁が生まれるというところが大きいと思います。昨今、飲食等の機会が減ってしまうと、生まれるご縁も減ってしまわないか、ちょっと心配なところではあります。私自身も司法修習生をお世話するのに外食をして酒を酌み交わしてという「飲みニケーション」が封印されてしまいました。しかし、弁護士とくだけた雰囲気です話す機会がまったくないというのも修習生には気の毒(?)ですから、流行りのフード・デリバリーで中之島のGARB weeksからピザ（ロマーナ、ナポレターナ、チチニエツリなど。ピザのデリバリーがかなり充実していますのでおススメです）とタコベルをお取り寄せし、扉や窓を完全に開放した会議室で、オリンピック男子サッカー予選の日本・メキシコ戦を一緒に観戦することにしました。



本当はピザだけでも十分だったのですが、勢いで「メキシコ(料理)を食うぞ!」などと言いながら、私が追加で頼んだのがタコベルです。タコベルがメキシコ料理なのかどうか、正直なところよく分かりませ



ん。修習生は「いいっすね!」などと、話を合わせてくれておりました。

最近のフード・デリバリーは、ネット上で、注文から決済まで、すべて完結しますし、配達員がいまどこにいるのか、GPS情報でリアルタイムに把握できますので、配達待ちの時間にもストレスはありません。御堂筋を北上できないので遠回り、自転車で国道一号線を渡る場所が分からず立ち往生などなど、配達員の戸惑いも手に取るように見えて、予定の配達時間に遅れても許せてしまいます。なかなかよくできているなと思いました。

さて、ご存知のとおり予選では日本2-1メキシコとなりました。修習生と一緒に飲みに出かけるということはできませんでしたが、食事をともにしながらサッカー観戦もできて、非常に楽しい時間になったと思います。

今回はGARB weeksのピザなどをご紹介しましたが、西天満界限をはじめ、おススメのフード・デリバリーがあれば、ぜひ教えて頂きたいと思っております。

編集後記

法友かわらばんNo. 4をお届けします。本年度も引き続きコロナ禍が続く、行事もままならない状況が続いてはありますが、そのような中でも各委員長・担当者が工夫して行事や研修などを盛り上げて下さっていますので、是非ご一読くださいませ。

広報委員会委員長 山田敬子

本年度2本目の法友かわらばん、原田編集長お疲れ様でした。時代に逆行するかのような新聞スタイル、気楽に読めるのはいいんじゃないかと思っております。編集長がねじ込んできたコロナ禍でのUber Eats企画、いかがでしたでしょうか？ ジャガジャガ食うのもフォドフォドにこらでやめてもいいコロナ。コロナ終息を願う師走でございます。

編集委員 辻村幸宏

ちょっと初動を誤り、編集業務を抱え込みました。いえ、本当は各編集委員を温存したのであります。わざとです。耕文社の兵頭さんはじめ、皆様にはご迷惑をおかけしました。改めて御礼を申し上げます。私の記事は、諸般の事情からの窮余の一策ですので、どうぞ寛大なお気持ちでご笑覧下さい。北口先生、当分、次回はしないと信じてます……。次回編集長に、しっかりとバトンをつなぎます。 本号編集長 原田裕康

今もコロナ禍の影響を多大に受けておりますが、若手会各派対抗ゴルフはコロナ対策の上で実施され、法友が五連覇を達成しました。来年はリアルでの行事が増え、法友かわらばん版と新設される法友のウェブサイトを通じてタイムリーかつ活気ある情報が届けられることを期待しています！ 編集委員 田中章弘

多くを編集長にお任せしきりでしたが、会派の活動を見て久しぶりに参加してみたいというモチベーションが上がりました。コロナ禍もあって、なかなか参加できておりませんがこのモチベーションが下がらないうちに委員会等に参加して会派活動を楽しみたいと思います。 副編集長 藤田康貴

副編集長にご指名いただいていたにも関わらず、多くを編集長にお任せしてしまい、仕事としては、編集後記の執筆くらいとなってしまいました。次回、原田先生が編集長をされる場合には、もう少し協力しますので、今回はご勘弁ください。来年は良い年になりますよう、皆さま良いお年をお迎えください。

副編集長 北口正幸